

平成30年度 補正予算（第2号）

一般会計 4800万円 追加

普通地方交付税、国庫支出金、繰越金などの増額を見込み、職員の新置換えなどによる人件費、文化財確認調査業務委託料、燃料供給体制確保計画策定業務委託料、総合案内施設屋根修繕工事、地域担い手支援住宅土地購入費及び特別会計繰出金等の増減額を措置するため補正しようとするもの。

歳入

地方交付税	9700万	円
国庫支出金	1036万4千	円
県支出金	1320万	円
財産収入	137万7千	円
繰越金	1165万3千	円
諸収入	170万6千	円

歳出

議会費	△55万1千	円
総務費	△318万4千	円
民生費	△282万1千	円
衛生費	564万2千	円
農林水産業費	2089万8千	円
商工費	1861万6千	円
土木費	△49万1千	円
消費費	48万6千	円
教育費	894万3千	円
予備費	46万2千	円

〔財産収入〕

問 管原研治議員

町有林売り払い収入の内容は。

答 総務課長

東谷地山地区内の分収林搬出間伐の収入で材積は240立方メートル。

〔商工振興〕

問 村上 満議員

燃料供給体制確保計画策定業務の内容は。

答 ふるさと振興課長

ガソリンスタンドの整備に関わるもので、将来にわたり燃料供給する計画策定を委託。

〔文化財確認調査〕

問 管原研治議員

圃場整備予定地において、文化財が確認された場合の工事の予定は。

答 農林建設課長

埋蔵文化財が確認された場合は調査を優先して進める。

〔施設整備〕

問 梅津政志議員

ミニスーパー防雪工事の場所と工事内容は。

答 ふるさと振興課長

雪氷が室外機に当たるとその被害を防止する工事。

問 梅津政志議員

スキー場総合案内施設の屋根修繕工事の内容は。

答 ふるさと振興課長

雪害による屋根鉄板損傷の修繕工事。

〔教育振興〕

問 管原研治議員

小中学校基本構想策定業務委託料不足の内容は。

答 教育次長

当初は校舎のみだったが、保育所やプール、調理場なども含めて見直しを行った。

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計 (第2号)	事業勘定	850万円	追加
	直診勘定	170万円	追加
簡易水道特別会計 (第1号)		50万円	減額
公共下水道特別会計 (第1号)		20万円	減額
介護保険特別会計 (第1号)		290万円	追加
後期高齢者医療特別会計 (第2号)		1万9千円	追加
七ヶ宿ダム自然休養公園 特別会計 (第1号)		2千円	減額

追加提案

七ヶ宿ダム自然休養公園
特別会計補正予算
(第2号)

問 管原研治議員

修繕料不足見込みと公園施設管理業務委託料不要見込みの内容は。

答 ふるさと振興課長

不足見込みはトイレ、浄化槽ポンプ、モアカタター等の修繕料。

不要見込みは管理請負業者の事業費の見直し。

入浴施設建築工事

問 吉田 修議員

入札参加業者数と落札率は。

答 応札業者は10社。落札率は72・87%。

問 梅津政志議員

炭酸浴槽や一般浴槽の入浴可能な人数は。また、サウナの機能は。

答 各浴槽への入浴は5〜6人で合計12人程度。サウナは電気式。

木質バイオマス施設
建築工事

問 村上 満議員

チップ材の常時収容可能量と年間使用量の確保は。

答 常時46立方メートル収容可能。チップは製造会社から求めるが、将来は町内のものを使用したい。

問 管原研治議員

ボイラーの特性と性能は。

答 オーストリア製で強制乾燥間欠運動型。自動着火機能で騒音は60デシベル程度。

問 梅津政志議員

木質バイオマスボイラーの選定理由と耐用年数は。

答 価格が安く静音。耐用年数は15年〜20年。

問 管原研治議員

入札参加業者数と落札率は。また、ボイラー施工の実績は。

答 応札業者は8社で落札率は93・53%。東松島市での施工実績がある。